

第1回東北観光アドバイザー会議 議事概要

日時：平成28年1月22日(金)15:00～17:00

場所：東京都内

- ・事務局から東北の観光復興に関する取組について説明。
- ・各委員から東北の観光復興の課題や今後取り組むべき施策のアイデア等についてプレゼンテーションを行い、意見交換。
- ・各委員からの主な意見は以下のとおり。

①プロモーションの工夫

- ・「新しい東北」のような明るい印象を与えることが必要。
- ・東北一体となったプロモーションをすべき。
- ・「復興」ではなく「元気な東北をアピール」という考え方へのシフトや、ターゲットを絞ることが必要。
- ・世界からの支援に対する「感謝」をまず示すべき。

②仙台空港の活用

- ・民営化を契機に、仙台空港を東北のゲートウェイとして強化すべき。

③「雪」などのブランド価値の掘り起し

- ・東北の良質な雪がブランドづくりの軸となり得る。
- ・全国は春・夏・秋の3回ピークがある。東北は秋の紅葉だけであり、雪や桜のシーズンにまだまだ余地がある。

④住民との交流

- ・東北は絶対数は少ないが、満足度は高い。本物の日本、風情が体験できることを評価されている。
- ・最近の訪日客は、地元の方々のおもてなしを表現するローカルアクティビティの満足度が高い。

⑤教育旅行

- ・来てくれた学生はとても良い感想を残してくれる。
- ・学生はリピーターになりうるので、積極的誘致が必要。
- ・福島では、姉妹都市を活用した学術交流など観光以外での交流も考えられる。
- ・負の遺産をプラスに変え、観光でなくてもスタディーツアーを呼ぶことが考えられる。

⑥その他

- ・観光復興には「集中」と「一定期間継続した取組」が必要。
- ・まずは先進事例や成功体験を作って引っ張っていく必要。
- ・元に戻るということではなく、新しい東北を作るという視点で取り組むべき。